

2025年度 大学院(修士課程) B日程 入学試験 目次

【問題】

基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈有鍵楽器(ピアノ)〉	2
基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈管楽器・打楽器・弦楽器〉	4
基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈声楽〉	6
基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈作曲〉	8
基礎科目:西洋音楽史[共通問題]	10
基礎科目:音楽理論[和声]〈有鍵楽器・音楽教育〉	12
基礎科目:音楽理論[和声]〈管楽器・打楽器・弦楽器・声楽〉	13
基礎科目:音楽理論[対位法]〈器楽・声楽・音楽教育〉	14
専攻科目:作曲〈作曲専攻〉	15
基礎科目:音楽学概論〈音楽学専攻〉	17
専攻科目:専攻分野筆記〈音楽学専攻〉	18

【解答例】

基礎科目:音楽理論[和声]〈有鍵楽器・音楽教育〉	19
基礎科目:音楽理論[和声]〈管楽器・打楽器・弦楽器・声楽〉	20
著作権に関して	21

* 受験者のいなかった科目、選択されなかった問題は掲載をしていません。

* 外国語、楽書解読の問題は著作権法の関係で掲載をしていません。(P. 21参照)

2025年度 大学院修士課程 B日程 基礎科目 西洋音楽史

イ. [専攻問題]

＜有鍵盤楽器(ピアノ)＞ ※音楽教育専攻を含む

鍵盤楽器を中心とする西洋音楽史で、下の A～D のキーワードから1つだけ選択し、そのキーワードについて解答欄に記載された4つの時代の特徴やその変遷を、具体的な作品例を挙げながら説明しなさい。選択したキーワードの記号(A～D)を【 】内に記入すること。

キーワード：

A: 楽譜（記譜法を含んでも良い）

B: 二部形式

C: 伴奏としての鍵盤楽器の役割

D: スペインの作曲家

選択したキーワードの記号 【 】

① バロック時代（選択するキーワードによっては中世・ルネサンス時代を含んでも良い）

（これ以上書かないこと）

② 古典主義時代

（これ以上書かないこと）

③ ロマン主義時代

（これ以上書かないこと）

④ 近代（20世紀）

（これ以上書かないこと）

＜管楽器・打楽器・弦楽器＞ ※音楽教育専攻を含む

管打弦楽器を中心とする西洋音楽史について、下の A～D のキーワードから 1 つだけ選択し、そのキーワードについて解答欄に記載された 4 つの時代の特徴やその変遷を、具体的な作品例を挙げながら説明しなさい。選択したキーワードの記号 (A～D) を【 】内に記入すること。

キーワード：

A: 器楽と声楽による楽曲

B: 宮廷・教会・国家と音楽

C: 舞曲を含む合奏音楽

D: フランスにおける管弦打楽器による音楽 (楽曲・楽器・演奏活動・コンサートなど)

選択したキーワードの記号 【 】

① 中世・ルネサンス時代

(これ以上書かないこと)

② バロック時代

(これ以上書かないこと)

③ 古典主義時代

(これ以上書かないこと)

④ ロマン主義時代（選択するキーワードによっては近現代を含んでも良い）

（これ以上書かないこと）

〈声楽〉 ※音楽教育専攻を含む

声楽を中心とする西洋音楽史で、下の A～D のキーワードから 1 つだけ選択し、そのキーワードについて解答欄に記載された 4 つの時代の特徴やその変遷を、具体的な作品例を挙げながら説明しなさい。選択したキーワードの記号 (A～D) を【 】内に記入すること。

キーワード：

A: フランス・オペラ

B: オペラにおける音楽と劇 (ドラマ) の関係

C: 歌曲における伴奏楽器の表現機能や役割

D: レクイエム

選択したキーワードの記号 【 】

① バロック時代 (選択するキーワードによっては中世・ルネサンス時代を含んでも良い)

(これ以上書かないこと)

② 古典主義時代

(これ以上書かないこと)

③ ロマン主義時代

(これ以上書かないこと)

④ 近代（20世紀）

（これ以上書かないこと）

＜作曲＞

作曲技法に着目した西洋音楽史で、下の A～D のキーワードから 1 つだけ選択し、そのキーワードについて解答欄に記載された 4 つの時代の特徴やその変遷を、具体的な作品例を挙げながら説明しなさい。選択したキーワードの記号 (A～D) を【 】内に記入すること。

キーワード：

A: ソナタ形式

B: フーガ

C: コラールまたはコラール書法

D: 音楽と言葉の関係

選択したキーワードの記号

【 】

① バロック時代

(これ以上書かないこと)

② 古典主義時代

(これ以上書かないこと)

③ ロマン主義時代

(これ以上書かないこと)

④ 近代（20世紀）

（これ以上書かないこと）

ロ. [共通問題]

〈器楽・声楽・作曲・音楽教育〉

西洋音楽史全体について、下の A～D のキーワードから 1 つだけ選択し、そのキーワードについて解答欄に記載された 4 つの時代の特徴やその変遷を、具体的な作品例を挙げながら説明しなさい。選択したキーワードの記号 (A～D) を【 】内に記入すること。

キーワード：

A: ポリフォニー・ホモフォニー・モノフォニー

B: 機会音楽

C: 楽譜と楽譜出版

D: パリ

選択したキーワードの記号

【 】

① 中世・ルネサンス時代

(これ以上書かないこと)

② バロック時代

(これ以上書かないこと)

③ 古典主義時代

(これ以上書かないこと)

④ ロマン主義時代（選択するキーワードによっては近現代を含んでも良い）

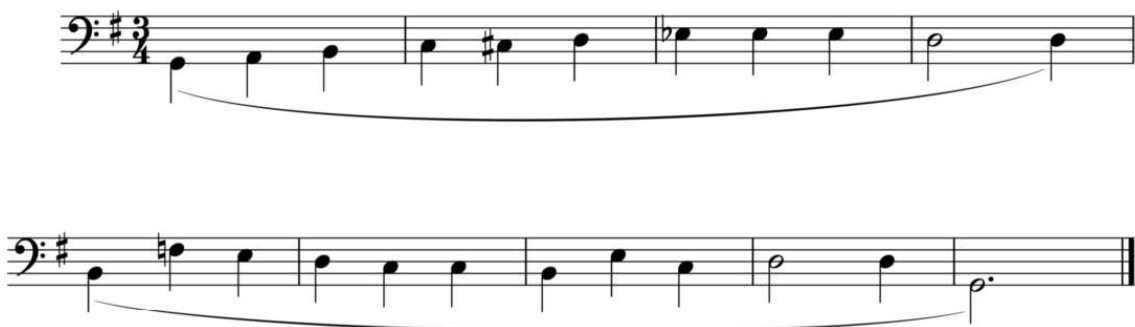
(これ以上書かないこと)

2025年度 大学院修士課程 B日程 基礎科目 音楽理論

イ. [和声]
〈有鍵楽器・音楽教育〉

次のバス課題、およびソプラノ課題を四声体で実施下さい。

バス課題



ソプラノ課題



〈管楽器・打楽器・弦楽器・声楽〉

次のバス課題、およびソプラノ課題を四声体で実施しなさい。

バス課題



ソプラノ課題



□. [対位法]
〈器楽・声楽・音楽教育〉

次の 1～5 のいずれか 1 つを選び、それに始まる対位法的楽曲を作りなさい。
Tempo、Articulation、Dynamics などは各自設定の上、必ず記入すること。
() 内の音の長さは自由とする。



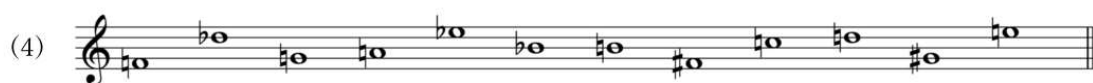
2025年度 大学院修士課程 B日程 専攻科目 〈作曲専攻〉

ロ. [実技試験]

a) または b) から 1 つを選び、楽曲を完成させなさい。

a) 次の (1) から (7) の素材の中から 1 つを選び、作曲をしなさい。

() 内の音の長さは自由とする。



(7)

Allegro

Violoncello

Piano

p cresc. f

p cresc. f

b) ※歌詞の課題は本学図書館で閲覧してください。

2025年度 大学院修士課程 B日程 基礎科目 音楽学概論 〈音楽学専攻〉

イ. [共通問題]

次の2問のうち1つを選択して解答しなさい。なお選択した設問の記号 A, B いずれかを○で囲むこと。

A : 音楽分析の目的と方法の関係について、具体例を挙げながら説明しなさい。

B : 音楽と都市や地域の関係について、具体例を挙げながら説明しなさい。

ロ. [選択問題]

〈 西洋音楽 〉

次の2問のうち1つを選択して解答しなさい。なお選択した設問の記号 A, B いずれかを○で囲むこと。

A : 西洋音楽史で起きた「論争」や「対立」について、具体例を1つ挙げて、その音楽史における意味を説明しなさい。

B : 音楽史の流れの中で、「古典への回帰」という現象がしばしばみられる。具体例を1つ挙げ、その回帰が音楽史に果たした役割について説明しなさい。

〈 日本音楽 〉〈 民族音楽 〉は受験者がいなかったため、問題の掲載はしていません。

2025年度 大学院修士課程 B日程 専攻科目 専攻分野筆記〈音楽学専攻〉

次の2問のうち1つを選択して解答しなさい。なお選択した設問の記号 A, B いずれかを○で囲むこと。

A : ブラームスの生涯で起きた環境的变化について、具体例を3つ挙げて説明しなさい。

B : 19世紀に入り、ピアノ・ソナタというジャンルは18世紀後半のそれとは異なる方向性へと展開した。その変化の内容について、具体的に説明しなさい。

2025年度 大学院修士課程 B日程 基礎科目 音楽理論 解答例

イ. [和声]
〈有鍵楽器・音楽教育〉

バス課題

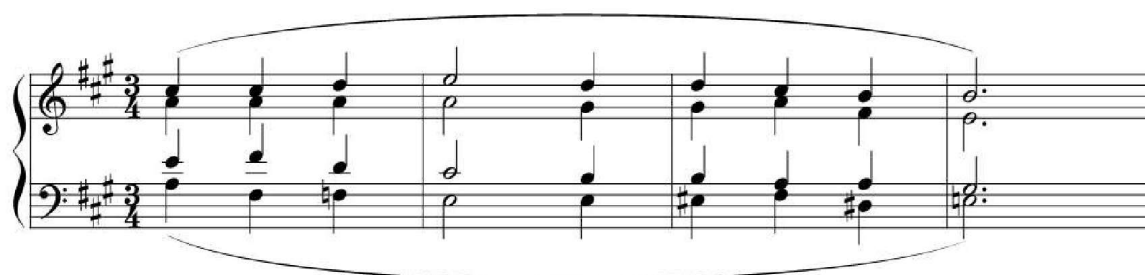
Two systems of musical notation for a bass exercise. The first system consists of four measures, and the second system consists of five measures. The key signature is one sharp (F#), and the time signature is 3/4. The notation is written for a grand staff (treble and bass clefs). The melody is primarily in the treble clef, while the bass line is in the bass clef. The exercise involves harmonic progression and melodic movement.

ソプラノ課題

Two systems of musical notation for a soprano exercise. The first system consists of four measures, and the second system consists of four measures. The key signature is one sharp (F#), and the time signature is 6/8. The notation is written for a grand staff (treble and bass clefs). The melody is primarily in the treble clef, while the bass line is in the bass clef. The exercise involves harmonic progression and melodic movement.

＜管楽器・打楽器・弦楽器・声楽＞

バス課題



ソプラノ課題



著作権に関して

大学院修士課程(B日程)の入学試験で実施される「外国語科目」、作曲専攻の作曲実技における「歌詞」ならびに音楽学専攻の「楽書解説」については、著作権法の関係でこの問題集には掲載していません。過去3年間(2023年度～2025年度)に出題された問題は、本学図書館にて閲覧することができます。希望者は図書館にて所定の手続きを行ったうえで閲覧をしてください。